分担研究報告書

油症患者における眼圧

研究分担者　上松 聖典　長崎大学病院眼科　講師
研究協力者　北岡 隆　　長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 眼科･視覚科学分野　教授

研究要旨：眼圧が高値になると緑内障となり不可逆的な視野欠損をきたすことがある。今回油症認定患者の眼圧を測定し、血中の PCB 濃度および CB 比が眼圧と関連するか検討した。

A．研究目的

眼圧は眼球の形状を保つために必要な内圧であり、正常値は 10～20㎜Hg とされている。緑内障では視神経乳頭陥凹により不可逆的な視野欠損をきたすが、高眼圧が視神経乳頭陥凹の最も重要な原因である。今回油症認定患者での眼圧について調査し、血中の PCB 濃度および CB 比が眼圧と関連するか検討した。

B．研究方法

長崎県油症検診の 3 地区すなわち、玉之浦、奈留、長崎地区において 2018 年度油症検診の眼科部門を受診し、眼圧の測定が可能であった油症認定患者 89 人を対象とし、アイケア®を用いて眼圧を測定した。左右の平均眼圧と血中 PCB 濃度が関連するか統計解析を行った。また CB 比のデータを得られた 87 人においては眼圧と CB 比が関連するか統計解析を行った。

（倫理面への配慮）

本研究のデータ解析においては、個人が特定できるようなデータは存在しない。

C．研究結果

対象者は男性 51 人、女性 38 人で、年齢は中央値 69 歳(54～94 歳)であった。眼圧は 13.7±2.1㎜Hg（平均±標準偏差）であった。血中 PCB 濃度は 1.39±1.07ppb であり、CB 比は 2.48±1.99 であった。眼圧と血中 PCB 濃度に有意な関連はなく(P=0.28)（図 1)、眼圧と CB 比有意な関連はなかった(P=0.60)（図 2)。

D．考察

眼圧の上昇は緑内障を引き起こす。緑内障は、厚生労働省研究班の調査によると、我が国における失明原因の第 1 位を占めている。日本緑内障学会で行った大規模な調査（多治見スタディ）では、40 歳以上の日本人における緑内障有病率は 5.0％であり、平均眼圧は 14.5±2.5㎜Hg、正常の眼圧は 10～20 ㎜Hg であることが報告された。[1)]

今回の調査では油症認定患者での眼圧は正常範囲で、血中 PCB 濃度や CB 比との関連は認められなかった。血中 PCDF 濃度については得られたデータが少なく、眼圧との関連は調査していない。これまでダイオキシン類の摂取や血中 PCB 濃度と眼圧との関連を指摘した報告は、

我々の調べた限りなく、今回の調査でも明らかな関連は認められなかった。

E．結論

油症認定患者の平均眼圧は正常範囲内であり、血中 PCB 濃度や CB 比との関連は認められなかった。

F．研究発表　なし

G．知的財産権の出願・登録状況　なし

参考文献

1) Iwase A, et al. Ophthalmology. 2004; 111 (9) : 1641-1648

図 1．油症認定患者における血中 PCB 濃度と平均眼圧

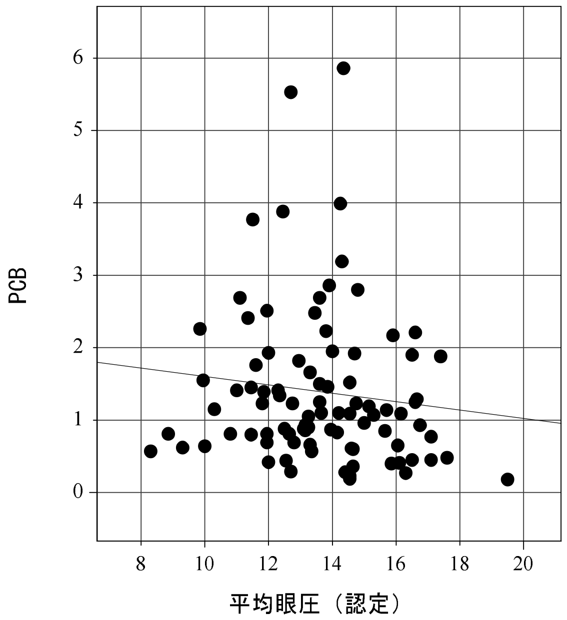
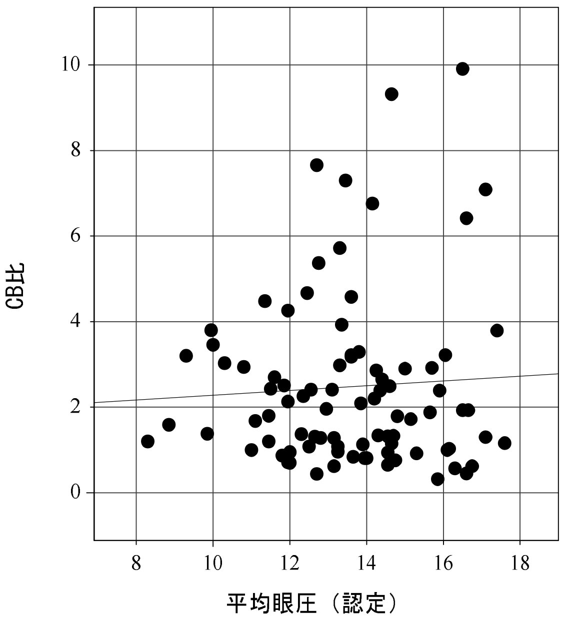
図 2．油症認定患者における CB 比と平均眼圧